

お知らせ

令和5年度「ICT 海外展開パッケージ支援事業の地方枠」の公募 ～デジタル技術の海外展開に関心のある事業者へ～

総務省は、令和5年4月24日（月）から令和5年5月25日（木）まで、デジタル技術の海外展開に関する取組を行う地域に根ざした ICT 中小企業を対象に、「ICT 海外展開パッケージ支援事業の地方枠」の公募を行います。

1. 事業の概要

総務省では、「総務省海外展開行動計画 2025」に基づき、「ICT 海外展開パッケージ支援事業」により支援スキームを講じ、海外展開の推進に注力しているところです。

地方には、海外展開につながる取組が潜在し、海外市場において地方企業が挑戦・活躍する機会を作ることは、展開先で日本の技術が社会課題解決に貢献する可能性を一段と増やし、さらには地方企業自身・地域経済そのものの活性化にもつながり有意義です。このため、地方の ICT に係る海外展開を推進することを念頭に、地方ならではの特性、課題抽出も含め、優れた技術を有する地方企業の海外展開に関する支援を実施します。

なお、本公募は、総務省より委託を受けた株式会社富士通総研（以下「事務局」という。）が事務局を担い、事業者の公募等を実施するものです。

2. 公募の詳細

事務局の下記 URL をご確認ください。

<https://ICTopssjle.jp/>

公募に関する問合せメールアドレス

info@ICTopssjle.jp

<参考> 「ICT 海外展開パッケージ支援事業」について

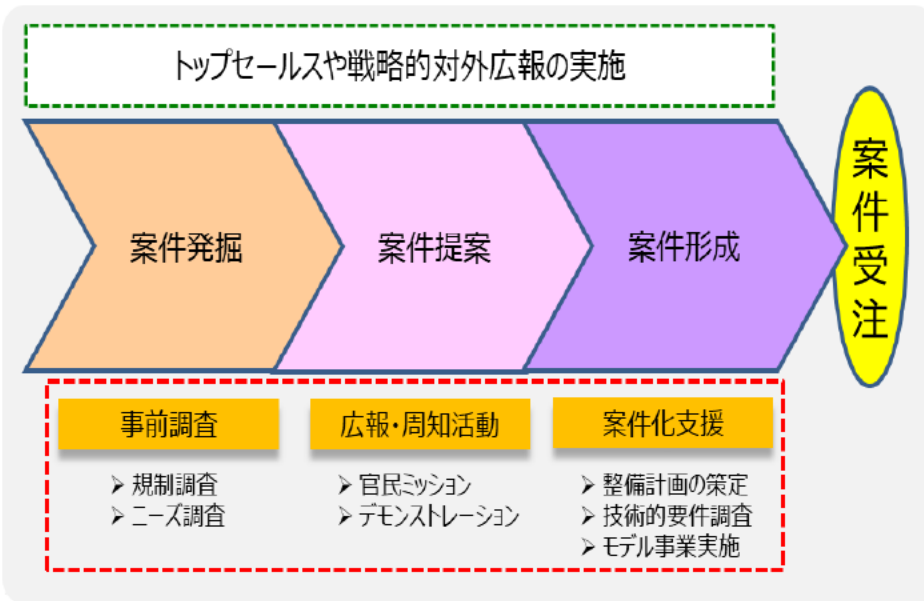
我が国が有する情報通信分野における技術の海外展開を促進するため、その案件発掘、案件提案、案件形成といった各展開ステージにおける支援を実施するものです。

（事業のイメージ：別紙：PDF）

ICT海外展開パッケージ支援事業

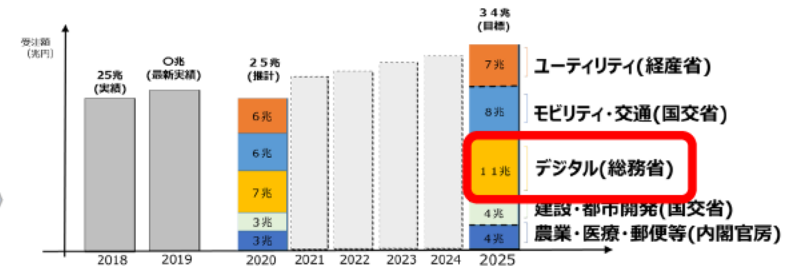
- 5G基地局、光海底ケーブルシステムをはじめとするICTインフラシステム、医療、農業等の分野におけるICTソリューション等について、「総務省海外展開行動計画2025」等に基づき、案件発掘、案件提案、案件形成といった各展開ステージにおける支援の実施により、海外展開を促進。

通信インフラやICT利活用モデル等のデジタル分野における案件形成に至るまでの各展開ステージで支援を実施



【令和5年度当初予算】1.3億円 【令和4年度補正予算】10.0億円
 (令和4年度当初予算額 1.3億円 令和3年度補正8.3億円)

「インフラシステム海外展開戦略2025」及び「総務省海外展開行動計画2025」で設定された目標への着実な貢献



注：2018年及び2019年は、「インフラシステム輸出戦略」に基づく受注実績。2020年は、「インフラシステム海外展開戦略2025」の効果 KPI(受注額の目標：2025年34億円)に向けた推計値(新編計では海外売上上の計測等を精緻化) 出典：内閣官房

展開先が抱える課題解決に貢献し、SDG s 達成に寄与

具体的な事例

デジタルインフラ

光海底ケーブル

- ▶ 年々増加する通信需要に対応するため、光海底ケーブルのニーズが更に高まっている
- ▶ 太平洋や島嶼国を中心に具体的なルート提案のための基礎調査を実施

Open RANをはじめとした5G

- ▶ 通信ネットワークの安全性、信頼性の確保に向け、特定ベンダーによるシステムの独占を解消し、オープンでセキュアなネットワークを実現するOpen RAN対応機器を展開
- ▶ アジアや南米といった途上国を中心に実証

デジタルの利活用

遠隔医療にICTを活用

- ▶ 病気の早期発見・予防医療等を実現するモバイルやクラウド技術等を活用した医療ICTの実証を実施
- ▶ チリ、ブラジル等で実証事業を実施し、遠隔医療ソリューションを受注

農業の改善にICTを活用

- ▶ 農作業効率化を促進するICT利活用モデルの実証を中南米、中東・アフリカを中心に実施
- ▶ コロンビアにて受注に至り、実証成果をエクアドル、ブラジルに横展開を実施